

危機管理論 I

科目ナンバリング SSE-101
選択 2単位

宮田 智之

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、危機管理論としてアメリカの外交安全保障政策について学びます。

唯一の超大国であるアメリカは、長年にわたりさまざまな安全保障上の問題に対処し、国際社会に多大な影響を及ぼしてきました。まさに世界にとって欠かせない国家として、国際秩序の形成と発展に寄与してきました。しかし、近年はそうした対外関与への疲弊感から「アメリカ第一主義」に象徴される孤立・非介入主義的な声がアメリカ国内で増大するなど、アメリカ外交に大きな変化が見られます。また、中国の台頭に象徴されるように、国際社会の力関係でも大きな変容が生じてきています。

そこで、本授業ではG.W.ブッシュ政権以降のアメリカ外交に主に焦点をあて、今日のアメリカと国際社会の関係について考察したいと思います。

2. 授業の到達目標

- ①「危機管理」というテーマを通じて政治や社会の動きについて関心をもつことができるようになります。
- ②国際情勢をはじめとする時事問題への理解が深まります。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験と平常点に基づき評価します。それぞれの割合は、期末試験:80%、平常点:20%です。授業態度が悪い場合は欠席扱いとすることもありますので注意してください。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

定期的に配布するプリントを利用して予習と復習をしっかりと行って下さい。

6. その他履修上の注意事項

- ①質問は大歓迎です。疑問点、わからない点などがあれば授業後に聞いてください。
- ②授業の進行の妨げとなりますので、授業中の私語や途中退席等は謹んで下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 冷戦後の世界とアメリカ
- 【第3回】 ブッシュ外交の特徴
- 【第4回】 単独行動主義外交
- 【第5回】 同時多発テロ事件
- 【第6回】 アフガニスタン戦争
- 【第7回】 イラク戦争
- 【第8回】 オバマ外交の特徴
- 【第9回】 テロとの戦い
- 【第10回】 アラブの春
- 【第11回】 米中関係
- 【第12回】 米露関係
- 【第13回】 アメリカ・ファーストの登場
- 【第14回】 アメリカ外交の現在
- 【第15回】 まとめ